

平成30年度岡山県農林水産総合センター水産研究所 試験研究課題評価票

<事前評価>

総合評価凡例 5：優先的に実施することが適当 4：実施することが適当  
 3：計画等を改善して実施することが適当 2：実施の必要性が低い  
 1：計画等を見直して再評価を受けることが必要

番 号	30-事前-1						
課題名	岡山県産天然アユを用いた資源回復研究						
課題の概要	アユの漁獲量は近年大きく減少しており、資源減少の一因として冷水病の蔓延が挙げられている。そこで、冷水病耐性が知られている天然アユ由来の種苗を放流し、放流効果を検証するとともに、岡山県産天然アユ種苗を普及することで資源回復を図る。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	2人	3人	0人	1人	0人	4.0
	有効性	0人	3人	2人	1人	0人	3.3
	効率性・妥当性	0人	3人	2人	1人	0人	3.3
	総合評価	0人	5人	0人	1人	0人	3.7
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール、予算が均一で戦略性に乏しい。作業仮説も必要と思う。</li> <li>・冷水病人為感染試験の影響が大型循環実験装置に残る懸念がある。</li> <li>・既知の知見、技術の応用が多く、新規性に欠ける。</li> <li>・各地で天然に近い種苗を放流しても効果が上がらない理由が必要。</li> <li>・天然アユのニーズは高いと思うが、なぜ冷水病に強いのか説明が必要。</li> <li>・岡山の川に天然アユが生息しているうちに、天然由来の種苗放流技術を開発するのは意義がある。漁業関係者との連携調査を望む。</li> <li>・地元由来のアユを県民にアピールし、味を認識してもらいたい。</li> <li>・資源回復効果は、漁獲量か再生産寄与率で評価するのか検討が必要。</li> <li>・遊漁者の減少も大きく、研究成果が望まれる。河川環境や資源の維持について広く県民にアピールすべき。</li> </ul>						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表する予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第1位で記載してください。

平成30年度岡山県農林水産総合センター水産研究所 試験研究課題評価票

<中間評価>

総合評価凡例 5：優先的に継続することが適当  
 4：継続することが適当  
 3：計画変更して継続することが適当  
 2：継続の必要性が低い  
 1：中止すべきである

番 号	30-中間-1						
課題名	モクズガニ資源回復研究						
課題の概要	モクズガニは近年漁獲量が減少しており、内水面漁業関係者等から資源回復に対する要望が強い。そこで、抱卵親ガニの実態調査から親ガニの安定確保を行い、種苗生産に寄与するとともに、環境DNA等の新技術を用いて放流効果の把握と検証を行う。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	可能性（計画）	0人	2人	3人	1人	0人	3.2
	可能性（阻害要因）	1人	1人	2人	2人	0人	3.2
	必要性	1人	2人	3人	0人	0人	3.7
	有効性	1人	2人	3人	0人	0人	3.7
	効率性・妥当性	1人	3人	1人	1人	0人	3.7
	総合評価	2人	3人	1人	0人	0人	4.2
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種苗生産でDHA含量の多い餌料に変えた時、どのような効果が得られたか。</li> <li>・放流種苗の食害種類数と食害量はどの程度か。また、再捕種苗の成長度を解析願いたい。</li> <li>・困難な再捕への取組みに対し、新技術の導入は期待できる。放流効果が明らかになれば、漁業者の放流意欲が増強される。</li> <li>・モクズガニの漁獲量、消費量、採捕者数などのデータがニーズを知る上で必要。また、資源回復状況を明示してほしい。</li> <li>・餌料開発が可能であれば、再び取り組んでもらいたい。</li> <li>・河口域の産卵生態に係る成果は新規性があり有益である。放流後の追跡調査では採捕手法の工夫が必要である。</li> <li>・研究成果を上げるには力点を整理し、資源回復への近道を模索することである。</li> </ul>						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表する予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第1位で記載してください。